

[様式 9 - 1]

福祉サービス等第三者評価結果

総合評価

受診施設名	亀岡保育園	施設種別	(旧体系 :)
評価機関名	京都府保育協会		

平成 22 年 3 月 9 日

総 評	<p>亀岡保育園は、亀岡の南東部に位置し、亀岡中学校、亀岡高等学校に隣接する落ち着いた環境にある保育園です。</p> <p>昭和24年に宗教法人「大本」の一角に開設し、「人類愛善」「人は神の子神の宮」という普遍真理を理念に60年の長い歴史を持つ地域に根ざした、地域に欠かせない保育園です。</p> <p>子どもたちには、心身ともに健康で、豊かな心を育むために、各年齢の発達に沿って、心・体力・食(健身給食)・社会性・芸術・親子関係の六つの柱の下、保育に取り組んでいます。また保育の環境に対しても、園内は清潔に管理され、至る所に子どもや職員の作品を展示し、小動物を育てるなど、ものや命を大切にしています。</p> <p>食に対するこだわりを持ち、地場の食材を使用する等自然の素材を大切にした給食を提供しています。</p>
特に良かった点(※)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 毎朝、職員朝礼を実施し、子どもの様子、伝達事項、病気や怪我等の情報を交換し、職員が共通認識を持って安全管理に力を注いでいます。 ・ 給食の素材は地場産を使用する等よく吟味し、自然の素材を大切に、だしを初めとして手間を惜しまず手作りで調理しています。間食には手作りおやつや特に小魚・昆布・スルメ等を用い、子どもたちの健康に心を配っています。また保護者にも試食会を開催し、食への関心を促す取り組みを行っています。 ・ 地域の七夕祭り、ひな祭りに参加したり、月一回のお茶会で子どもたちに礼儀作法を伝授しています。また、子どもたちだけでなく保護者・卒園児・地域の方・お年寄りを招き、地域との交流を深め関わりを大切にしています。
特に改善が望まれる点(※)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今回の第三者評価受診をきっかけに、保育計画の見直し、会議の記録等、園全体の保育計画を充実すると、なお良いでしょう。 ・ 職員個別の研修計画を作成・実施・評価・反省をされると、さらに専門性やスキルアップに繋がるでしょう。 ・ 苦情解決における第三者委員の名前を明示されるとなお良いでしょう。

※それぞれ内容を3点程度に絞って掲載しています。評価項目毎のコメントは「評価結果対比シート」の「自由記述欄」に記載しています。

保育所評価基準 対比シート

I 福祉サービスの基本方針と組織

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
I-1 保育の理念・基本方針・目標	I-1-1(1) 保育の理念、基本方針・目標が確立されている。	① 保育の理念が明文化されている。	A	A
		② 保育の理念に基づく・基本方針・保育目標が明文化されている。	A	A
	I-1-1(2) 保育の理念、基本方針・目標が周知されている。	① 保育理念・保育方針・保育目標が職員に周知されている。	B	A
		② 保育理念・保育方針・保育目標が利用者等に周知されている。	B	A
I-2 計画の策定	I-2-2(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。	① 中・長期計画が策定されている。(非該当)	非該当	非該当
		① 保育課程が保育理念・保育方針・保育目標に基づき、さらに地域の実態や保護者の意向等を考慮して編成されている	B	B
	② 保育課程と年間指導計画、短期指導計画との整合性が図られている。	A	A	
	③ 指導計画の評価を定期的に行い、その結果に基づき改定されている。	A	A	
	④ 保育課程の編成や指導計画の作成が組織的に行われている。	B	B	
	⑤ 保育課程・指導計画が職員や利用者等に周知されている。	B	B	
I-3 管理者の責任とリーダーシップ	I-3-1(1) 管理者の責任が明確にされている。	① 管理者自らの役割と責任を職員に対して表明されている。	B	B
		② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取り組みを行っている。	B	B
	I-3-1(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。	① 質の向上に意欲を持ちその取り組みに指導力を発揮している。	B	B
		② 経営や業務の効率化と改善に向けた取り組みに指導力を発揮している。	B	B

[自由記述欄]

■法人の保育理念、保育方針は園のパンフレットに明文化されて保護者や職員に配布されています。また職員会議において理事長が理念や方針に関わる話を行っています。保育理念は広報誌を作成し、配布することで理解を深める取り組みをしています。

■保育課程は理事長・主任がリーダーとなり職員の意見を反映しながら編成されています。それらの内容を評価・見直しをし、保護者や地域の実態を考慮し、地域に周知する取り組みを行うとなお良いでしょう。

■理事長、園長は職員一人ひとりに毎日声をかける努力をしています。園外での管理者研修などにも積極的に参加しています。行政からの通達・通知などは職員会議や連絡会議で周知し、関係法令等とあわせてリスト化されるとなお良いでしょう。

II 組織の運営管理

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果		
			自己評価	第三者評価	
II-1 経営状況の把握	II-1-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。	① 事業経営をとりまく環境が的確に把握されている。	B	A	
II-2 人材の確保・養成	II-2-(1) 人事管理の体制が整備されている。	① 必要な人材に関する具体的なプランが確立している。	A	A	
		① 職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている。	B	B	
	II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。	② 職員の福利厚生や健康の維持に積極的に取り組んでいる。	B	A	
		II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。	① 職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。	B	A
			② 個別の職員に対して組織としての教育・研修計画が策定され計画に基づいて具体的な取り組みが行われている。	B	B
	③ 定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。	B	B		
II-2-(4) 実習生の受け入れが適切に行われている。	① 実習生の受け入れに対する基本的な姿勢を明確にし体制を整備している。	B	A		
	② 実習生の育成について積極的な取り組みを行っている。	B	A		
II-3 地域との交流と連携	II-3-(1) 地域との関係が適切に確保されている。	① 利用者と地域とのかかわりを大切にしている。	B	A	
		② 事業所が有する機能を地域に還元している。	B	A	
		③ ボランティア受け入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	B	A	
	II-3-(2) 関係機関との連携が確保されている。	① 必要な社会資源を明確にしている。	A	A	

[自由記述欄]

- 理事長、園長は亀岡市民間保育園長会に加入し、社会福祉事業全体の動向や地域の福祉サービス等のニーズを把握しています。
- 人材確保は開かれた保育園を目指して延長保育の人材を計画的に行っています。職員の意向や意見は主任保育士と話し合いながら対応しています。
- 職員の福利厚生は、保険に加入・職員共済会に加入するなど総合的な取り組みをしています。
- 園内研修は理事長を中心に定期的に全職員に対して行っています。基本姿勢に沿って職員一人ひとりの研修計画を策定し、研修成果を評価・分析し、その結果を研修計画に反映されるとなお良いでしょう。
- 実習生の受け入れは、マニュアルを作成し、実習意義や方針を明文化して職員に周知しています。
- 地域の七夕祭りに参加したり、月釜には地域のお年寄りや保護者を招いてお茶会を開催し、地域住民との交流を図っています。
- ボランティアの受け入れは、基本姿勢を明確にして行っています。

Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス	Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。	① 利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備している。	B	A
		① 苦情解決の仕組みが確立され十分に周知・機能している。	B	B
	Ⅲ-1-(2) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。	② 利用者からの意見等に対して迅速に対応している。	B	B
Ⅲ-2 サービスの質の確保	Ⅲ-2-(1) 質の向上に向けた取り組みが組織的に行われている。	① 定期的に第三者評価を受診し、事業内容の改善に活かしている。	C	B
		② 定期的に自己評価を行い、その結果と課題を職員間で共有し、改善に向けた取り組みを行っている。	C	B
	Ⅲ-2-(2) サービス実施の記録が適切に行われている。	① 入園面接・健康診断など定められた手順に従ってアセスメントを行っている	B	A
		② 利用者に関する記録の管理体制が確立している。	B	A
		③ 利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している。	B	A
	Ⅲ-3 サービスの開始・継続	Ⅲ-3-(1) サービス提供の開始が適切に行われている。	① 利用希望者に対してサービス選択に必要な情報を提供している。	B
② 保育の開始にあたり利用者等に説明し同意を得ている。			B	A
Ⅲ-3-(2) サービスの継続性に配慮した対応が行われている。		① 転園・卒園にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。	C	B

[自由記述欄]

- プライバシー保護のマニュアルは整備され、組織として対応を行っています。
- 苦情解決の仕組みは規程によって記録が整備されています。第三者委員の氏名を明示して保護者に周知されるとなおります。
- 第三者評価受診をきっかけに理事長を含めた委員会を立ち上げ、自己評価を実施し、明確になった課題について職員が共通認識を持って改善を図る取り組みを行っています。評価結果を分析・検討し具体的な改善につなげるとなおります。自己評価は担当委員を決めて行っています。
- サービスの標準的な実施方法は、その都度、会議で見直しを行っています。
- 子ども一人ひとりの記録は、文書規程により事務室で適切に保管しています。
- 記録類は組織が定めた様式で記録しています。指導計画は立案者と主任保育士が連携して策定しています。
- 入園時には、説明会でおりを配布し、園の方針や保育内容を説明して保護者の理解を得ています。
- 転園の際の保育の継続性については、書式を整備され、文書化されるとなおります。



評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
IV-1 子どもの発達援助	IV-1-(1) 健康管理・食事	① 登所時や保育中の子どもの健康管理は、マニュアルなどがあり、子ども一人ひとりの健康状態に応じて実施している	A	A
		② 健康診断の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている	B	B
		③ 歯科健診の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている	A	A
		④ 感染症発生時に対応できるマニュアルがあり、発生状況を保護者、全職員に通知している	A	A
		⑤ 食事を楽しむことができる工夫をしている	A	A
		⑥ 子どもの喫食状況を把握するなどして、献立の作成・調理の工夫に活かしている	A	A
		⑦ 子どもの食生活を充実させるために、家庭と連携している	A	A
		⑧ アレルギー疾患をもつ子どもに対し、専門医からの指示を得て、適切な対応を行なっている	A	A
	IV-1-(2) 保育環境	① 子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している	A	A
		② 生活の場に相応しい環境とする取り組みを行なっている	B	A
	IV-1-(3) 保育内容	① 子ども一人ひとりへの理解を深め、受容しようと努めている	A	A
		② 基本的な生活習慣や生理現象に関しては、一人ひとりの子どもの状況に応じて対応している	B	A
		③ 子どもが自発的に活動できる環境が整備されている	A	A
		④ 身近な自然や社会とかかわれるような取り組みがなされている	A	A
		⑤ さまざまな表現活動が自由に体験できるように配慮されている	A	A
		⑥ 遊びや生活を通して人間関係が育つよう配慮している	A	A
		⑦ 子どもの人権に十分配慮するとともに、文化の違いを認め、互いに尊重する心を育てるよう配慮している	A	A
		⑧ 性差への先入観による固定的な観念や役割分業意識を植え付けないよう配慮している	A	A
		⑨ 乳児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる	A	A
		⑩ 長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる	B	A
		⑪ 障害児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮が見られる	A	A

【自由記述欄】

■各保育室とも環境整備が行き届き、設備には子どもが安全に心地良く過ごすことが出来るように工夫されています。

■給食は、食材へのこだわりを持ち、地の野菜を使用し、自然の素材を大切にしておふくろの味・和食中心で全て手作りで調理しています。保護者には食事の展示や給食会等とおし、食への共有を図っています。

■トイレは清潔に保たれ、手洗後はペーパータオルを使用するなど、衛生管理の徹底に努めています。

■日々の保育でお散歩に出かけ、自然物を利用するなど季節にあった保育を工夫しています。

■保育室には子どもたちが自由に取り出せる玩具を用意しています。子どもたちが自分であそびコーナーを作り保育士が見守っています。職員
の園児や保護者への対応は明るくハキハキしています。

■宗教法人「大本」の精神に基づき、集団の中で規律・協調・礼儀や挨拶を重んじ、情操教育にも力を注いでいます。

■散歩、畑仕事などで人間関係を育む取り組みを行っています。

■ボーテージプログラムを用いて障がい児保育が行われ、園・家庭・専門機関と緊密に連携を図っています。

IV-2 子育て支援

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
IV-2 子育て支援	IV-2-(1) 入所児童の保護者の育児支援	① 一人ひとりの保護者と日常的な情報交換に加え、個別面談などを行なっている	A	A
		② 家庭の状況や保護者との情報交換の内容が必要に応じて記録されている	B	B
		③ 子どもの発達や育児などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通理解を得るための機会を設けている	A	A
		④ 虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見に努め、得られた情報が速やかに所長まで届く体制になっている	B	A
		⑤ 虐待を受けていると疑われる子どもの保護者への対応について、児童相談所などの関係機関に照会、通告を行う体制が整っている	A	A
		⑥ 子どもの発達記録やケア記録、保育要録など保育に必要な記録が整備され、保育内容（指導計画）や小学校など専門機関との連携に活かされている。	B	A
	IV-2-(2) 一時保育	① 一時保育は、一人ひとりの子どもの心身の状態を考慮し、通常保育との関連を配慮しながら行っている	非該当	非該当

[自由記述欄]

■日常的に保護者の方と送迎時に声をかけ話を聞いて情報交換を行っています。また、必要に応じて懇談の場を設けています。全園児対象に個人懇談を行っています。その内容について記録されるとなおります。

■虐待対応マニュアルは整備されています。疑われるケースが発生した場合は、家庭訪問をすると同時に園内の連絡や地域の関係機関への照会・通告などについて速やかに対応できる体制を整備しています。

■子ども一人ひとりの発達状況は、保育記録に記載し、全体会議で確認をしています。個別対応を要する子どもについては、各関係機関と連携を図り、ケア記録など保育に必要な記録を整備しています。保育要録にも記録し、小学校と連携しています。

IV-3 安全・事故防止

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
IV-3 安全・事故防止	(1) 安全・事故防止	① 調理場、水周りなどの衛生管理は、マニュアルに基づいて適切に実施されている	B	A
		② 食中毒の発生時に対応できるマニュアルがあり、さらにその対応方法については、全職員にも周知されている	B	A
		③ 事故防止のためのチェックリスト等があり、事故防止に向けた具体的な取り組みを行っている	B	A
		④ 事故や災害の発生時に対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている	B	B
		⑤ 不審者の侵入時などに対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている	B	B

[自由記述欄]

■調理場・水回りなどの衛生管理マニュアルは整備されており、清潔に保たれています。

■食中毒の発生時に対応できるマニュアルがあり、各保育室に掲示され、職員に周知しています。

■事故・災害発生時・不審者侵入時の対応マニュアルは整備されています。研修記録を整備するとともに定期的な見直しをされるとなおります。